

センターだより

第8号

平成31(2019)年1月15日発行

吹田市立教育センター

大阪府吹田市出口町2-1

TEL 06-6388-1455

FAX 06-6337-5412

メール seduc@city.suita.osaka.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

新年のごあいさつ

所長 由上 正幸

教職員のみなさまには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、今を遡ること1年前、念願の教職員一人1台相当のパソコンの配備が完了し、校務支援システムについての研修を経て、授業や会議等でのパソコン活用についてもようやく軌道に乗りつつあるかと拝察いたします。しかしながら、ここまでの道のりは決して平坦ではなかったなど振り返っております。年度当初及び一学期末には度重なる不具合を生じ「学校教育情報通信ネットワーク元年度」は、思いもよらない事態の連続でした。

その節には教職員の皆さまには、大変ご迷惑とご心配をおかけしました。この場をお借りして、改めてお詫びいたします。二学期以降は、大規模なシステム不具合は幸いにも発生しておらず、今後もシステムの安定した稼働の維持継続に努めてまいります。

現在も、プロジェクタや無線LANアクセスポイントの配備台数は十分とは言えず、ICTを活用した授業の充実に向けてはまだ道半ばの状態です。今後も教室のICT環境を充実させることは、教育センターに課された重要課題と捉えて、課題解決のための努力を継続してまいります。

さて、教育課程の課題に目を転じると、小学校ではすでに完全実施となった特別の教科道徳は、中学校では次年度から取り扱うこととなります。また、小学校英語については、これまでは扱う語数の規定はありませんでしたが、今後は小学校の間に6~700語程度にふれると定められました。現在、中学校で扱う語数が1200語程度ですから、小学生のうちから相当数の語彙にふれることとなります。これらの新しい教科を含めて、あらゆる学びを効果的に進めていくうえで、ICTを活用した授業を展開・推進していくことは、主体的、対話的で深い学びの獲得にもつながる重要課題と捉えています。今後も授業での効果的なICT活用事例について、研修会等を通じて発信する予定です。

いずれにしても、次代を生き抜く吹田の子供たちの「総合的人間力」を育成するための教育実践の推進に向け、教育センターとして今後も学校・園の支援に注力してまいりたいと考えております。

来る平成31年度(2019年度)はシステムの安定稼働に、引き続き努めるとともに、各校の教育活動が順風満帆に進捗していくことを祈念いたします。

吹田市のICT教育をさらなる高みへ。今年もよろしく願いいたします。

委嘱研究学校の研究紹介

吹田市立桃山台小学校

11月27日（火）に実施された、委嘱研究学校2年目となる桃山台小学校の授業研究の様子を紹介します。



同校は、「伝え合いながら自ら考える国語力の育成」を主題として、思考スキルを活用した授業づくりの研究を進めています。本年度は、「理由づける」「比較する」「構造化する」などの思考スキルのうち、「比較する」思考スキルに絞り、研究主題に迫っています。

はじめに、1年国語科 物語文「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の授業を参観しました。学習指導要領の読むことの領域において、場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことが目標として設定されています。

授業者の野村梨沙教諭は、飼い犬に「大すきだよ。」と伝え続けた主人公の心情の変化を想像させるために、「大すきだよ。」の言葉の変化に注目、比較させる授業を展開。児童は飼い犬の死をみつめる主人公によりそいながら、心情の変化を考えました。

指導助言者の鳴門教育大学 泰山 裕 先生は、冒頭、「今日の授業がどの「考える」の種類に当てはまるのか。」と先生方に投げかけ、協議参加者全員で分析を行いました。授業中の児童の発話やワークシートの記述内容を比較しながら、授業の目標と児童の思考の関係をみとり、参加者の分析をふまえた助言を進めておられました。



学習における児童に求める思考のレベルは目の前の児童に適しているのか。ねらいにせまるための比較の対象と比較の操作方法の設定はできているのか。授業実践をとおした分析をもとに、具体的な手法を提示しながら授業づくりのプロセスを解説されました。先生方は、次の授業づくりにつなげるために、熱心に耳を傾けていました。

桃山台小学校の2年間の委嘱研究学校として研究成果の報告に期待が膨らみました。

吹田市立吹田南小学校

11月6日（火）に委嘱初年度となる吹田南小学校の研究を取材しました。



吹田南小学校は、現在、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「アクティブに学習する子供の育成～対話的な学習から深い学びへとつなげる」をテーマに研究を進めています。

1年国語科の教材「狸の糸車」の授業で、授業者の平櫛 亜惟那 教諭は、会話文がないという教材の特徴を利用し、自由に想像を膨らませる学習活動を展開しました。吹田南小学校では、研究主題にせまるため、授業者は、児童の思考を「きく・つなぐ・もどす」を話し合い活動の手立てとして大切にしています。また、

ノートを書き出す内容については、自分の考えと友達の考え、学習の気づきや振り返りに重点をおいています。児童が主体となる話し合い、思考の書き出しの活動によって、情報を整理して書いたり話したりする力の向上が見られるようになったとの報告を聞くことができました。

同校が研究を進めるため、協力を依頼している学校が高槻市立桜台小学校です。類似した児童・家庭の様相、学習課題を抱え、その課題解決のために桜台小学校が取り組む「学びの共同体活動」を研究の参考にしています。

今回の研究会には、桜台小学校より、上田 香苗教諭、進藤 夕子教諭が研究協力者としてこられました。お二人は、教材の人物の心理の分析の大切さや人物の心情の変化を読み取るためのポイントについて助言されていました。

児童がどこで学んでいたか。どこで学んでいなかったか。その理由は何か。児童の学習における変化に注目し、一つの授業を参加者全体で練り上げる体制を見せていただきました。



情報教育機器の利活用について～SKYMENU Class 編～

★活用してみよう！『タイマー』機能★

今回も、教職員用の着脱式ノートパソコンやコンピュータ教室に配備されている児童・生徒用の着脱式ノートパソコンにインストールされている「SKYMENU Class」を紹介します。普通教室等で着脱式ノートパソコンをタブレットとして活用する際に授業を支援するソフトウェアです。今回は、その中から『タイマー』機能をご紹介します。これは、タブレットの画面上に時間を大きく表示する機能で、経過時間を計測する「カウントアップ」と、残り時間を計測する「カウントダウン」があります。また、時間と合わせて、円グラフや帯グラフも表示できます。そのため、子供たちも時間等を確認しながら取り組み、時間意識を身につけられます。

★『タイマー』機能の利用方法★

- ① Windowsにログイン後、デスクトップの右端にある『SKYMENU Class』のツールバーから、「アプリ」→「タイマー」をタップする。
- ② 「タイマー」画面が表示された後、任意の時間等を設定し、「スタート」をタップする。

研修ピックアップ

【研修番号】124

【日 時】2月8日（金）16:00～17:00

【場 所】吹田市立教育センター 視聴覚室

【研 修 名】英語教育研修

「小学校外国語活動における言語コミュニケーションを楽しむ指導法の工夫」
～ペアトークからスピーチまで、伝え合いを楽しむ英語活動～

【講 師】山田第五小学校 教諭 関谷 優作

【研修について】

昨年6月29日の英語担当者会で紹介した、山田第五小学校の英語指導のシステムや教材について、実際に体験してみたりしながら、さらに具体的に学ぶことができる研修です。

- 児童同士の長い会話が可能になる、1つのダイアログを1枚の絵に表した教材の効果的な使用法
 - Do you like? Yes./No. のような、2文ダイアログの指導法
 - 單元ごとに行うスピーチの指導や評価のシステムについて
 - フォニックス指導を低・中・高学年と、段階的に指導する方法
- 参加者のみなさんの御意見から、さらに良い指導法について考えられる研修になればと思います。たくさんの参加をお待ちしています。

お知らせ

「センターだより」 の配付方法について

校務支援システムの導入に伴い、これまで紙媒体で配付しております「センターだより」におきまして、平成31年度よりTe-Comp@ss「お知らせ機能」で配信する予定です。

今年度の残りの「センターだより」につきましては、これまで通りの配付方法を継続しながら、「お知らせ機能」による配信も行います。

経験年数の少ない教職員 Q&A (子供理解 編)

今月号は「子供理解」についてです。

Q

叱ることが苦手で、「次からは気をつけよう。」というだけで終わってしまいます。厳しくすることも必要だとは思いますが…

叱るときは、「こうあってほしい姿」「自分の行動への気づき」などを思い描きながら話しています。本人が「次から何に気をつけたいか」と感じているのかを確認するとよいでしょう。

まずは、子供の言い分、思いを確かめ、その上で具体的に伝えることがポイントですね。



Q

一人ひとりと関わる時間を十分取ることができない中、子供理解をどのように行えばよいのでしょうか。

大切なのは、一人ひとりの子供を理解したいという思いと、より多くの見取りの観点をもつことだと思います。集団の中で、子供たちに丁寧に伝えることを大事にしながら関わっていくことも必要でしょう。

休み時間、給食や清掃の時間の何気ない会話も、子供理解の大切な時間です。





1・2月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
平成30年度【吹田市立教育センター 教育研究報告会】			子育て青少年拠点 夢つながり未来館 ゆいびあ (多目的ホール・多目的リ ハーサル室・多目的会議室)	1月30日(水) 14:00～17:00	教職員
キャリア ステージにあつた 研修	初任者研修 フレッシュ研修 (新規任用講師)	38 授業づくり9「小中一貫教育について」 —中学校における授業参観と研究協議— 授業者 豊津西中学校 指導教諭 吉田 昌司(英語科) 講義(1) 吹田市教育委員会 指導室 指導主事 大坪 直子 講義(2) 千里みらい夢学園 副学園長 竹見台中学校 校長 羽間 博子	豊津西中学校	1月15日(火) 13:30～17:00	小学校初任者教員 (火曜班) 新規任用講師
		39 授業づくり9「小中一貫教育について」 —中学校における授業参観と研究協議— 授業者 山田中学校 教諭 荻野 豊(数学科) 講義(1) 吹田市立教育センター 指導主事 鈴木 俊介 講義(2) 千里みらい夢学園 副学園長 千里たけみ小学校 校長 黒谷 聡	山田中学校	1月17日(木) 13:30～17:00	小学校初任者教員 (木曜班) 新規任用講師
		40 授業づくり7「小中一貫教育について」 —小学校における授業参観と研究協議— 授業者 東山田小学校 教諭 西田 まなみ 講義(1) 吹田市教育委員会 指導室 指導主事 岡田 敦 講義(2) 千里みらい夢学園 学園長 桃山台小学校 校長 西田 智子	東山田小学校	1月24日(木) 13:35～17:00	中学校初任者教員 新規任用講師 新規採用 幼稚園教員
	ステップアップ研修 Ⅰ (2年次)	59 1年間の実践報告 吹田市立教育センター 指導主事等	教育センター 研修室	2月28日(木) 15:45～17:00	平成29年度 小・中学校 初任者教員等
リ ー ダ ー 研 修	スクールリーダーA (首席)	82 「職場でのコミュニケーション ～自分も周りも動かす力～」 Sontaku 代表 河井 美由紀	教育センター 視聴覚室	2月12日(火) 15:30～17:00	首席
教科・ 領域別 研修	英語教育研修	123 「小学校外国語活動の実践について」 講師 藤白台小学校 教諭 永森 美智子	教育センター 視聴覚室	1月18日(金) 15:45～17:00	小学校教職員 ※第5回小学校外国語担 当者会を兼ねる
	英語教育研修	124 「小学校外国語活動における 言語コミュニケーションを楽しむ指導法の工夫」 ～ペアトークからスピーチまで、伝え合いを楽しむ英語活動～ 講師 山田第五小学校 教諭 関谷 優作	教育センター 視聴覚室	2月8日(金) 16:00～17:00	小学校教職員
	授業づくり研修 (国語)	142 スーパーティーチャーに学ぶ (委嘱研究学校 佐竹台小学校共催) 国語科の師範授業と講演 『教材をみつめる・教材とむきあう』 明星大学 教授 白石 範孝	佐竹台小学校	1月29日(火) 14:00～17:00	教職員
特別 支援 教育 研修	特別支援教育 事例検討研修	223 事例検討研修(行動領域) 事例提供 市内学校園 助言 神戸親和女子大学 准教授 森田 安徳	教育センター 視聴覚室	2月4日(月) 15:45～17:00	特別支援教育 コーディネーター 教職員
	特別支援教育研修	213 「状況調査の結果と引継ぎについて」(共通研修④) 教育センター 指導主事 矢幡 渚	教育センター 視聴覚室	2月15日(金) 16:00～17:00	特別支援教育 コーディネーター
専門 職 研 修	事務職員 研修	90 チーム学校における事務職員の役割 吹田市教育委員会 指導主事 浦 憲太	教育センター 視聴覚室	1月15日(火) 16:00～17:00	事務職員
	事務職員 研修	94 学校事務の標準化と効率化 ～茨木市の共同実施の実践を通して～ 茨木市立天王小学校 主幹 松尾 政美	教育センター 視聴覚室	2月14日(木) 15:30～17:00	事務職員
情報教育研修	331 ICT機器を活用した公開授業② 授業者 東佐井寺小学校 教諭 荒木 大輔 指導助言 大和大学 教授 松本 宗久	東佐井寺小学校	2月21日(木) 14:35～17:00	教職員 ※情報教育推進委員会 を兼ねる	

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

2月のさつきらーむ(初任者教員等相談室)は、2月7日(木)、12日(火)です。
申込は、教育センターまで(Te-Comp@ssメール又は研修申し込みシステムにて)

